

肝胆膵内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)に対するベザフィブラート+ビタミンE治療の有効性に関する研究
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)内科学講座(肝胆膵内科)(職名)教授(特任)(氏名)中出幸臣
試料・情報の利用目的及び利用方法	〔利用目的〕 ベザフィブラートおよびビタミンEを内服している患者さんと、ビタミンE単独で服用している患者さんを1年間後ろ向きに調査し、脂肪肝における血清ALT値低下に差がみられるかを調査することを目的とする 〔対象となる患者さん〕 2018年1月から2021年4月までにNAFLDと診断された患者さん 〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2024年3月31日 〔利用方法〕 患者さんの画像検査データと血液検査結果を使用する。通常診療において、普段の外来で確認されていること(画像検査および血液検査)と同様であり、患者さんがビタミンEおよびベザフィブラートを開始された時点までさかのぼって調査をさせていただきます。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できますので、ご希望の方は下記問い合わせ先まで電子メールまたは文章でご連絡ください。
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：治療開始時の臨床所見、画像検査データおよび血液検査所見など
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る	非該当

研究機関名・研究責任者名	
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年3月31日までに下記問い合わせ先まで電子メールまたは文章で申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部内科学講座 肝胆膵内科 担当者:(職名)教授(特任) (氏名)中出幸臣 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線23480) 電子メール ynakade@aichi-med-u.ac.jp